

上下水道DX推進事業(宮城県名取市水道事業所)



◆事業の背景・目的

本市の水道使用量の検針業務は、検針員が訪問し毎月検針を実施しているが、多くの時間と労力が掛かっており、誤針や対人トラブルの課題がある。

また、近年寒波による凍破で空家等の無人宅の二次側漏水の発見が遅れ、過大な水道料金請求の振替によって漏水を発見するなどの課題もある。

そこで、電力スマートメーターネットワークを活用した共同検針により業務効率化及び二次側漏水早期発見によるお客様サービスの向上を図る。

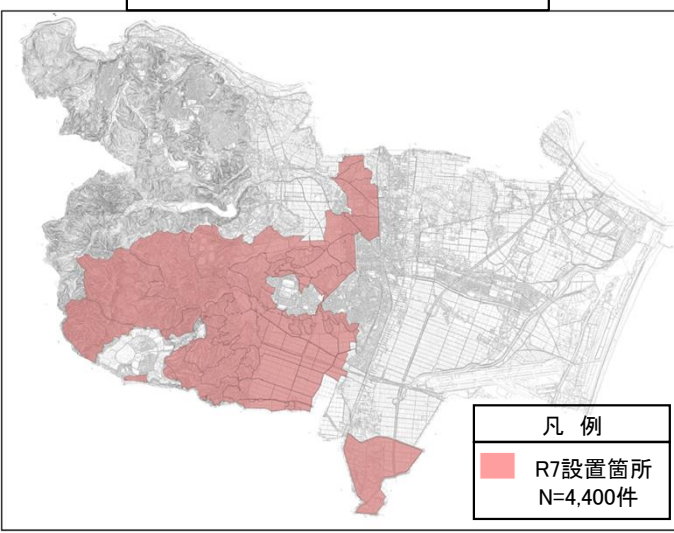
また、高齢者の一人暮らし世帯が増えており、見守りサービスによる安否確認ができることで安心して暮らせるまちづくりを目指し、スマート水道メーター導入事業を実施する。

東北電力ネットワーク㈱が所有する通信網の活用については、本事業が初の導入事例である。

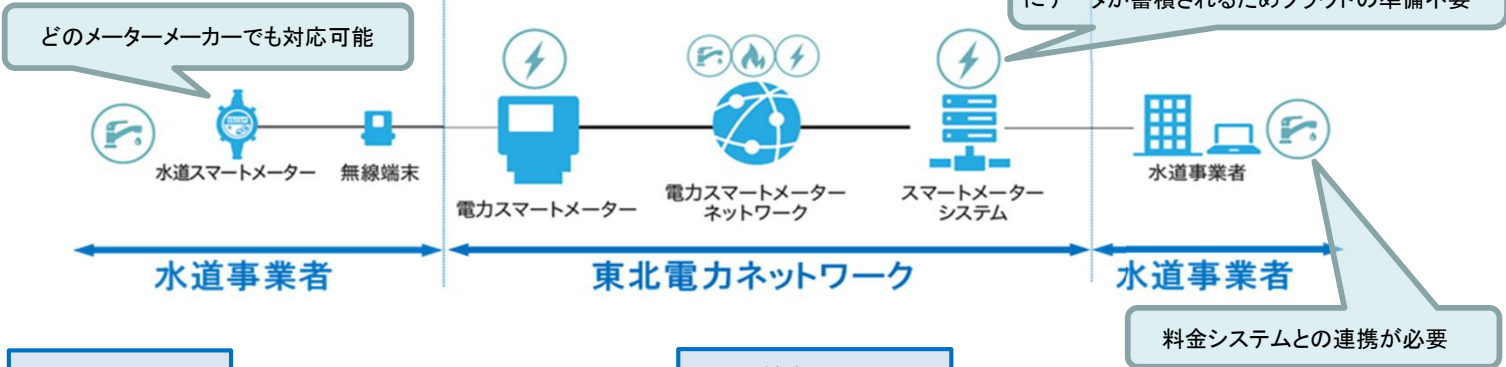
◆事業の概要

事業名:スマート水道メーター導入事業
事業期間:令和7年度～令和12年度
実施箇所:市内全域 約28,700件

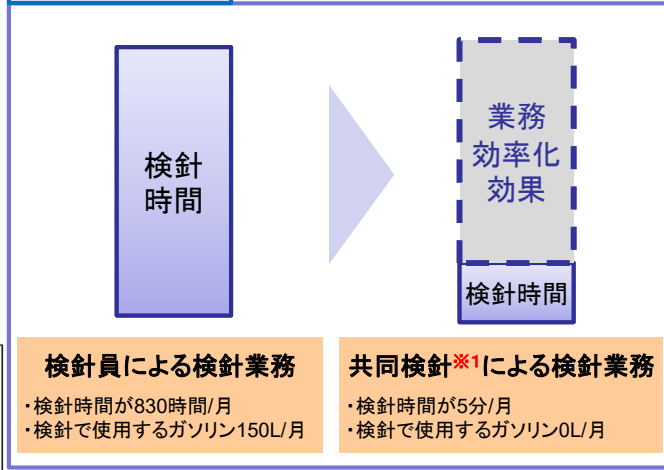
スマート水道メーター導入予定位置図



共同検針の仕組み



業務の効率化



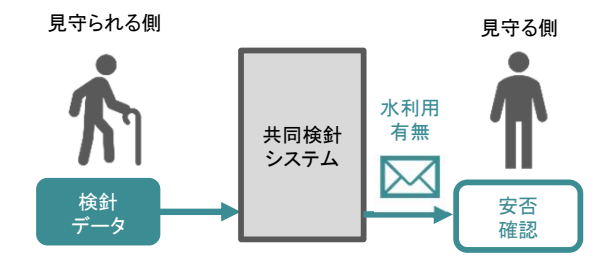
共同検針のメリット

- 安定 通信品質の安定**
 - 最適な電波経路の自動選択による安定した通信環境の確保
 - 最寄事業所による迅速な現場対応が可能
- 安心 高セキュリティ**
 - スマートメーター専用の通信回線を使用
 - 24時間365日ウィルス検知、不正アクセス、システム障害を監視
- 安価 インフラ資産の活用**
 - 携帯電話回線に比べ、通信料金が安価
 - 全国共通仕様の共同検針システム※2を採用しており、将来的に無線端末等の調達コスト低減が期待できる。

付加効果の創出

- ①減免費用の削減**
二次側漏水の早期発見により水道使用量減免費用の削減が見込まれる。
(年間約5,000,000円)
- ②サービスの向上**
二次側漏水の早期発見により、お客様負担額が軽減されることで、お客様サービスの向上が見込まれる。
- ③見守りサービス**
水道の使用状況に応じご家族などへの通知サービスが可能となり、安否確認や高齢者見守りに役立てる。

<見守りサービス概要>



※1 電力スマートメーターネットワークを活用して、都市ガス、LPガス、水道の各メーターの検針データの収集や遠隔制御、装置情報(アラーム等)等の収集を行うもの。
※2 NPO法人テレマーケティング推進協議会が定める「共同検針運用ガイドライン」に準拠したシステム。